



議会だより

うんなび



もくじ

●正副議長・常任委員長座談会	P 1
議会改革 変化する恩納村議会！	
●平成19年度決算認定	P 4
●陳情トピックス	P 5
●議案審議結果一覧	P 6
●一般質問	P 7
●追跡 あの提言は今どうなっているの	P 13
●広域事務組合紹介	P 14
●編集後記	P 15

シリーズ各字の自慢 (第8回・安富祖)

自警消防団

～地域の安全と安心守る～

結成前は、盗難・深夜の暴走行為・少年の夜間徘徊・未成年のビーチでの飲酒などがあり、それが原因で何名かの有志が集まり、昨年9月に自警消防団を結成し、年2・3回の消防訓練・AED(自動体外式除細動器)勉強会、週2回の夜間パトロール、台風前後には1人暮らしの老人世帯の見回りなども行います。16人の団員が先頭に立ち色々な活動を展開しています。

今年の9月には、1周年事業として、駅伝大会が開催され、安富祖～名嘉真間10*。を走り地域住民の防災意識向上のためのPR活動を行いました。

(表紙写真・記事担当委員 又吉)



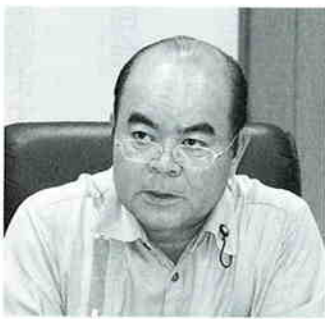
情熱の歌人
うんなナビ

議会改革

村民の期待にこたへる改革をめざして

恩納村議会

変化する



山城良一議長

山城議長

先ほど郁夫さんから団

集まって、座談会していること自体が変化ですよ。

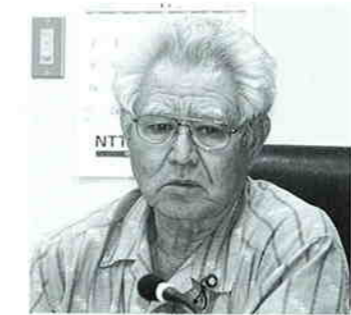
金城委員長

議長、副議長、委員長が集まって、座談会していること自体が変化ですよ。

親泊副議長

一つは広報です。議会の動きを住民に知らせる活動になってきました。

『議会だより』の一般質問原稿を議員が自分で編集するようになりました。



親泊一元副議長

体などの役員から議員が退くというお話があったんですが、これは大事なところだと思えます。

司会

こうした変化というのは議会の役割を強化してきていると思えますが。

親泊副議長

議員が議会活動を通じて成長していけるようになったのじゃないか。意見も多く出るし。

吉山委員長

広報で知らせる活動が、村民の要求をつくりだす。

正副議長 常任委員会委員長 座談会

行政サイドは集中改革プランに基づいて行財政改革を具体的に進めています。こうした中、議会においても独自の改革努力がおこなわれてきました。

行政改革にせよ、議会改革にせよ「何のための、だれのための改革か」が常に問われています。住民の期待にこたへる議会改革とは……。

今回は正副議長、各常任委員会委員長をお招きして、これまでの改革への取り組みや、改革の現状、到達点、さらには今後の課題や展望についても議論していただきました。



司会

「三位一体改革」。「国から地方へ」という行政改革の流れの中で、本村でも「行革プラン」が平成十八年につくられる。この頃から議会改革というものが動きはじめたと思うのですが。契機となったのは。

山城議長

平成十七年に議員定数が十八から十六になりました。それで、地域や団体との懇談会をはじめたんです。

親泊副議長

平成十四年ですか、わたしの一期目の議長選出で、投票で議長が選ばれた。変化を感じたな。

吉山委員長

議員定数削減で、これまで以上に議員の資質を高め、住民の思いをしっかり受け止めないと。というのが出発点だったかと。

山城委員長

監査や基地対委員長ということで、関係する団体

そうすると陳情なども増えてきますから、各委員会の活動も活発化するという相乗効果が生まれている。

山城委員長

諸団体に議員が役員として名を連ねないというのは、理解されてきているのではないかと。

吉山委員長

この点では議会の自立につながっていますよね。

司会

各委員会がこれまで取り組んでこられた改革というのがありますか。

金城委員長

所管事務調査もね、やはり事前の学習というのがないと。

出席者	山城良一 議員
議会議長	山城良一 議員
議会副議長	親泊一元 議員
総務財政文教委員会	
委員長	吉山盛次郎 議員
経済建設民生委員会	
委員長	金城弘 議員
基地問題対策委員会	
委員長	山城郁夫 議員
司会	
議会広報委員会	
委員長	植田良介 議員



吉山盛次郎
総務財政文教委員長

吉山委員長

議会と行政というのが「車の両輪」だと、よく言われますけど、この間、陳情を委員会を受けて、所管事務調査してきました。以前だったら、報告で終わっていたんですが、意見書にまで仕上げて、行政に対して政策提言できたんですね。

山城委員長

去年でしたか、再編交付金の問題がありました。このとき、委員会ですらうな悩みました。委員みんなが意見を出しあう中で、委員会としての方向

委員会の機能が活発に動きだしています。もう

吉山委員長

村民が気安く相談できる議会になってきたと感じます。

金城委員長

どういうところがどう変わってきたのでしょうか。

司会

体の役員を辞退したんですが、これも議会改革の一歩だったのではないかと。

収入と支出は

Q 税の収入が増えたのは、高額納税者の転入によるもの。

A 総額が増えたのは、投資的経費の校舎改築、谷茶交流施設、体験学習センター等整備事業費が増えたもの。

Q 人件費の削減は、3千3百万円に減って改革プランの計画に沿った削減になっています。

Q 補助金の状況は、5千4百万円増えています。

Q ふるさと創生基金が減っているのは。

A うんな祭り、産業祭りへの補助金として800万円出しています。(残高が気になります)

Q 国からの地方交付税が減らされたのは。

A 自己財源が増えれば交付税が調整

借入と貯金は

Q 19年度の新たな借入れはどのくらいか。

A 2億9千万円増えました。

Q これまでの借入れ残高はどれくらいか。

A 一般会計で45億4千万円です。特別会計も含めると48億円となります。

Q 借入れに対する返済金は、元金、利息含めて3億円となって、返済比率は高くなっていきます。

Q 預金はどのくらいあるのか。

A 2億3千万円増えて22億1千万円の残高となっています。

Q 水道の供給状況は。

A 一般家庭30%、企業関係70%今年度は利益から一般会計に780万納付しています。

平成19年度決算認定 Q&A

されます。3億6千万円のマイナスになりました。

総収入	82億7千万円
自主財源	40億3千万円
依存財源	42億4千万円

総支出	80億6千万円
経常的経費	40億4千万円
投資的経費	32億2千万円
その他経費	8億円

明許繰越金	1億6百万円
黒字額	1億4百万円

財政健全化指標の公表へ

自治体の「会計の健全性に関する比率の公表の制度を設け、その比率に応じて会計の健全化を図る」として平成19年健全化に関する法律が制定されました。

村にでも19年度の決算から4指標の算定が出されました。

④将来負担比率
公営企業、出資法人を含めた実質負債率将来負担債務には退職金総額も想定されてきます。

	早期健全化基準	財政再生基準	恩納村
実質赤字比率	15.0	20.0	—
連結実質赤字比率	20.0	40.0	—
実質公債費比率	25.0	35.0	9.7
将来負担比率	350.0		105.5

判断は4指標

①実質赤字比率
一般会計の赤字額の割合

②連結実質赤字比率
全ての会計の実質赤字割合、国民健康保険や下水道事業の赤字も含まれて計算されます。

③実質公債費比率
一般会計が負担する借入れの返済割合(三カ年の平均)

恩納村は4つの基準値の早期健全化基準を下回っていて現在のところ財政は健全に運営されています。

記事執筆委員 長嶺

が出てきたんです。 思います。

フットワークを軽くした動きをしたいですね。

植田委員長

司会

「議会だより」のバックナンバー見ていきますと、平成十六年ごろから少しずつ変化してきています。親泊副議長の方からもお話しありましたが、十六年九月号からは一般質問原稿は各質問者が書くことになりましたし、十七年には、これまで審議結果一覧表と一般質問の記事しか目次になかったのが、追跡記事が登場します。現在は、全委員がさまざまな記事を手掛けているわけで、大きな変化だと

最後に、これからの議会改革に向けての課題や抱負をおうかがいしたいのですが。

親泊副議長

各行政区ね、議員がいないところをどうするか。各区が抱える問題にどうこたえるか。課題と感じます。

山城議長

新年度で懇談会を再開していきたいですね。今度は予算もつけて、議会活動の位置づけもはっきりさせたい。懇談会をもたないと議会改革はできないですね。

記事執筆委員 植田



金城 弘
経済建設民生委員長

吉山委員長
現在も、所管事務調査で各委員が閉会中も調査活動しています。これからも、政策提言できる委員会活動にしていきたいです。



山城郁夫
基地問題対策委員長



植田良介
議会広報委員長

今日は臨時議会後の、四時半からの座談会というところで、大変お疲れのところ、ご協力いただきありがとうございます。